

## 次期道路交通センサスの実施方針（案）

### 1．次期道路交通センサスのねらいと実施に向けて考慮すべき事項

#### （1）道路交通センサスのねらい

全国で統一的・定期的に実施する基幹的調査

道路政策の立案に不可欠な道路交通流動に関する統計資料の収集

#### （2）調査実施に向けて考慮すべき事項

効率的、効果的調査による調査コストの縮減

- ・ 将来交通需要推計をはじめとするデータ活用方法の明確化と調査内容の見直し
- ・ 各種既存統計の活用などによるデータ収集の効率化
- ・ I T 技術等新技術の活用による調査の効率化（民間プローブカー、E T C 等）
- ・ コスト縮減の社会的要請への対応  
道路行政における新たなデータニーズに対応した調査の見直し

### 2．次期道路交通センサス実施の基本方針

#### 2 - 1．実施時期について

- ・ 平成 22 年度秋季に実施する。

#### 2 - 2．各調査の実施に向けた基本方針

新技術の活用等により、調査負担の軽減、調査の効率化を図るとともに、道路行政における新たなデータニーズに対応するために、より有効かつ効果的なデータ収集を目指す。

調査負担の軽減、調査の効率化に向けた各調査の主な検討内容は以下の通り。

なお、次期道路交通センサスにおいて新たに試みる調査方法については、必要に応じてプレ調査を実施し、その実現可能性等について判断することとする。

( 1 ) 一般交通量調査

< 交通量調査 >

機械計測の積極的導入

観測区間の統合、調査実施間隔の見直しによる非観測区間の拡大

< 旅行速度調査 >

民間プローブデータの積極的活用

< 道路状況調査 >

ニーズに照らした調査項目の見直し

同種調査の活用又は統合方法の具体化

( 2 ) 自動車起終点調査 ( O D 調査 )

< オーナーインタビュー O D 調査 >

配布効率・回収率向上のための調査手法の改良

調査負担の軽減とより有効なデータ収集・活用に対応した調査項目の見直し

活用目的に対応したサンプル数の見直し

< 路側 O D 調査 >

活用目的に対応した路側 O D 調査の見直し

< 高速 O D 調査 >

E T C の普及を考慮した高速 O D 調査の見直し